

1 施設の復旧・修繕  
ア 栽培用施設及び果樹棚の復旧(再建)

氏名:

添付書類チェック欄

- ☐【被害状況の写真等】
- 被害箇所や程度がわかる写真、及び復旧施設や附帯設備等の規格・能力が分かる写真（パイプ径が分かる写真）の2種類
- ☐【セーフティネットへの加入】
- 施設共済や農作物共済、収入保険等に現在加入している場合は、加入していることがわかる資料
- ☐【課税事業者】
- 課税事業者であることがわかる資料（適格証明書、直近の確定申告書等）
- ☐【見積書】
- 2社の見積書

※該当案件のみ

- ☐【付帯設備等の写真】
- 事業により導入し、復旧した附帯設備、その他部材（被覆資材等）の写真
- ☐【復旧の規格・規模の変更】
- 被災施設の見積書、復旧施設の見積書をそれぞれ2社以上
- ☐【一部自己所有を活用した再建・修繕】
- 所有する資材の分を除いた見積書（すでに見積書等を徴取し、着工している場合は、所有する資材分を除いた分を補助対象経費とする）
- ☐【施設の移転】
- 移転する理由書

No.	被害地の地番	施設の名称 (パイプハウス等)	被 害 内 容								栽培用施設及び果樹棚の復旧（再建）計画						総事業費  円	その他		備考 (課税事 業者等) ※6
			規格又は構造				棟数  棟	施設 面積※2  ㎡	被害 施設 面積※3  ㎡	再取得 価格※4  円	規格又は構造				復旧 (再建) 棟数  棟	復旧 (再建) 施設 面積  ㎡				
			施設の 構造	間口  m	奥行  m	パイプ径※1  mm					施設の 構造	間口  m	奥行  m	パイプ径※1  mm						
	大字																			
合計																				

※1 パイプ径は基本的に被害施設と同じパイプ径とするが、被害施設よりも太い径のパイプとする場合、その上限額は、再取得価格を上限として補助対象事業費を記入。

※2 施設が複数棟ある場合は、その合計面積を記入。

※3 被害施設面積は、施設面積のうち内数とする。

※4 基本的には被害施設と同一の規格、規模を復旧することとなるため、再取得価格が総事業費と同じ金額を記入。

ただし、※1のパイプハウスの径が異なる場合のほか、被害施設と規格、規模と異なる場合は、再取得価格を上限額として補助対象事業費を記入。

※5 施設共済、農作物共済、収入保険等に加入している場合は、レチェックを記入するとともに、加入していることが分かる資料を添付。

※6 課税事業者（簡易課税事業者は除く）である場合は、備考欄に「課税事業者」と記入の上、課税事業者であることが分かる資料を添付すること。

1 施設の復旧・修繕  
イ 栽培用施設及び果樹棚の修繕

氏名: \_\_\_\_\_

添付書類チェック欄

- ☐ 【被害状況の写真等】 被害箇所や程度がわかる写真、及び復旧施設や附帯設備等の規格・能力が分かる写真（パイプ径が分かる写真）の2種類
- ☐ 【セーフティネットへの加入】 施設共済や農作物共済、収入保険等に現在加入している場合は、加入していることがわかる資料
- ☐ 【課税事業者】 課税事業者であることがわかる資料（適格証明書、直近の確定申告書等）
- ☐ 【見積書】 2社の見積書

※該当案件のみ

- ☐ 【付帯設備等の写真】 事業により導入し、復旧した附帯設備、その他部材（被覆資材等）の写真
- ☐ 【復旧の規格・規模の変更】 被災施設の見積書、復旧施設の見積書をそれぞれ2社以上
- ☐ 【一部自己所有を活用した再建・修繕】 所有する資材の分を除いた見積書（すでに見積書等を徴取し、着工している場合は、所有する資材分を除いた分を補助対象経費とする）
- ☐ 【施設の移転】 移転する理由書

No.	被害地の地番	施設の名称 (パイプハウス等)	被 害 内 容							栽培用施設及び果樹棚の修繕計画			総事業費  円	その他		備考 (課税事業者※6等)
			規格又は構造				棟数  棟	施設 面積※1  ㎡	被害 施設 面積※2  ㎡	修繕内容 (骨材の修繕等)	修繕棟数  棟	修繕 面積※3  ㎡		現在の共済等 の加入状況※5 (加入有りは レチェックを入 力)	今後、共 済等への 加入意志 (加入の意 志が有る 場合はレ	
			施設の 構造	間口  m	奥行  m	パイプ径  mm										
	大字															
合計																

※1 施設が複数棟ある場合は、その合計面積を記入。

※2 被害施設面積は、施設面積の内数とする。

※3 修繕面積は、被害施設面積の内数とする。

※4 施設共済、農作物共済、収入保険等に加入している場合は、レチェックを記入するとともに、加入していることが分かる資料を添付。

※5 課税事業者（簡易課税事業者は除く）である場合は、備考欄に「課税事業者」と記入の上、課税事業者であることが分かる資料を添付すること。

2 施設の撤去

氏名：\_\_\_\_\_

添付書類チェック欄

- ☐ 【被害状況の写真等】 撤去前及び撤去後の写真
- ☐ 【セーフティネットへの加入】 施設共済や農作物共済、収入保険等に現在加入している場合は、加入していることがわかる資料
- ☐ 【課税事業者】 課税事業者であることがわかる資料（適格証明書、直近の確定申告書等）

No.	被害地の地番	施設の名称 (パイプハウス等)	被 害 内 容							栽培用施設及び果樹棚の撤去				総事業費 円	その他		備考
			規格又は構造				棟数 棟	施設面積※1 ㎡	被害施設面積※2 ㎡	種類※6	撤去する施設面積 ㎡	助成単価※3 円/㎡	撤去費用※4 円		現在の共済等の加入状況※5 (加入有りはレチェックを入力)	今後、共済等への加入意志 (加入の意志が有る場合はレチェックを入力)	
			施設の構造	間口 m	奥行 m	パイプ径 mm											
	大字																
合計																	

※1 施設が複数棟ある場合は、その合計面積を記入。

※2 被害施設面積は、施設面積の内数とする。

※3 ①被覆材がガラスのハウス→1,200円/㎡ ②被覆材がプラスチックで骨材が鉄骨のハウス→880円/㎡ ③被覆材がプラスチックで骨材が鉄骨でないハウス（パイプハウス、果樹棚等）→290円/㎡  
④畜舎→4,500円/㎡ ⑤その他

※4 実施要領別表1の助成単価を用いることができない場合は、見積書等による単価を記入。

※5 施設共済、農作物共済、収入保険等に加入している場合は、レチェックを記入するとともに、加入していることが分かる資料を添付。

※6 ①被覆材がガラスのハウス ②被覆材がプラスチックで骨材が鉄骨のハウス ③被覆材がプラスチックで骨材が鉄骨でないハウス（パイプハウス、果樹棚等） ④畜舎 ⑤その他

令和6年度大雪農業災害特別対策事業実施計画個別内訳書

3 農産物の再生産に必要な種苗等の購入

氏名: \_\_\_\_\_

添付書類チェック欄

- ☐ 【被害状況の写真等】撤去前及び撤去後の写真
- ☐ 【セーフティネットへの加入】施設共済や農作物共済、収入保険等に現在加入している場合は、加入していることがわかる資料
- ☐ 【課税事業者】課税事業者であることがわかる資料（適格証明書、直近の確定申告書等）

No.	被害地の地番	事業対象作物名	作付面積 ha	被害面積  ha	購入種苗の種類・名称	同左10a当り 所要量		同左 単価	10a当り 事業費 ※1	10a当り 標準事 業費	総事業 費	その他		備考 (課税事 業者 等)※3
												現在の共済等 の加入状況※2 (加入有りはレ チェックを入力)	今後、共済等への 加入意志(加入の 意志が有る場合は レチェックを入力)	
	大字													
合計														

※1 雪害発生の時期と生育ステージを念頭に地域の標準的な農薬等の使用量を確認した上で事業費を記入願います。

※2 施設共済、農作物共済、収入保険等に加入している場合は、レチェックを記入するとともに、加入していることが分かる資料を添付。

※3 課税事業者（簡易課税事業者は除く）である場合は、備考欄に「課税事業者」と記入の上、課税事業者であることが分かる資料を添付すること。